

市田灯籠流し今昔

2020年、今年はコロナ禍で花火大会は出来ませんでしたが、参加人員を少なくして町と高森町仏教会の全面協力を得まして灯籠流し供養が行うことが出来ました。



◎ 市田灯籠流しの起源は。

市田灯籠流しは、今から98年前の大正末期頃に出砂原の明照寺で、夏に施餓鬼供養が行われていました。当時の商売上手な方達が集まり、人寄せが出来る様に出来ないかと思案の結果、当時、新聞に掲載された岐阜の長良川で行う灯籠流しが目にとまり、早速実行することとなりました。しかし、此处、天竜川は水の流れが速く、ロウソクの灯りではすぐ消えてしまい、角形の灯籠を作るにしても予算がない中で、麦藁なら浮くとのヒントを得て、火の玉も合わせて考えた結果、今まで作っていた形態の灯籠筏が出来上がりました。それから九十年余も製作の仕方を、部分変更しながら受け継いで来ました。太平洋戦争後に商売会が出来てから花火大会が合わせて行われるようになり現在に至っております。(文中推測する箇所も有ります)

◎ 灯籠の筏作り (2019年度の製作様子)



↑飯島の麦畑へ受取に行く



↑麦藁を束ねて舟の素を作る



↑火の玉をつり下げる竹を取りに行き裁断する



↑竹枠の曲げ



↑竹を中央で2本クロスさせる



↑枠の絵を描く



↑枠の絵2面分



各部分を準備して18日の午前中に灯籠を組み立てる

以前はこんな灯籠も作られました



↑基本灯籠の作り見本



↑18日炎天下での灯籠作り



↑できあがった灯籠



↑時には大型の筏も作りました

筏に紙のタスキを着ける前には、切り子灯籠を筏に括り付けていた時もありました。しかし、河川に流れてしまうのと、水に浸かった筏が重くて引き上げが大変とのことで、紙に変更しました。垂らしの生地部分を巻き付けていた期間も長かったと思います



2011年に平沢宗治氏発案の木枠に絵を貼り付けた灯籠を作りました。枠を作るのも大変だったと思います



2012年と2013年には、福島県相馬市の避難者の子供達に灯籠流しを行って頂きました、まだまだ復興して故郷へ帰れるのはまだ先のように思います。あれから10年が過ぎようとしています。



2014年からは現在の形の筏となりました。今まで桑の棒を使っていたのですが入手が難しくなり、また自立した筏にしたいとの思いから相違工夫をして形が出来ました。地区の皆さんや中学校の美術部の生徒と町職員に絵や風物文等を書いて頂き、見栄えの有る灯籠となりました。



又、飾り灯籠も祭壇横に置きました



↑橋のたもとでの法要



↑前年度9月以降に亡くなられた著名人名を書いた竹の筏



↑法要の読経の中、戒名を付けた灯籠を流します



↑花火に照らされる筏灯籠。流す灯籠の数は約250基が等間隔で流されます

2018年の飯田市時又の灯籠流しの様子

市田灯籠流しとは水の流れが違い緩やかになっているので、以前では切り子灯籠を木の板の筏に乗せて流していましたが、河川環境に配慮し、水に溶ける皿灯明に変更になり、今までの切り子灯籠は堤防に飾る様にしたとのことでした。



2020年、第97回市田灯籠流し大煙火大会はコロナ禍により、花火大会は中止をして川施餓鬼法要のみを行うこととしました。また灯籠についても、これまでの灯籠からの変更を決意しました。今回導入した灯籠は、河川環境に配慮した物になり、今までの麦藁筏には製作過程に伴う労力等の軽減にもつながるとの期待がされています。今までの灯籠から変わってしまいましたが、施餓鬼法要の新しい方向になったのではないのでしょうか。地区住民の減少等の課題もありますが、川施餓鬼法要は続けたい物です。



麦藁と桑の棒から竹ひごになり、また洒落た絵などが飾られるようになった灯籠を、先人達が考えたことがあったのか?? 聞いて見たいですね。



市田灯籠流しは、もうすぐ100回目の開催になろうとしております。時代と共に戦争で中断した時もあり、昭和36年の伊那谷を襲った集中豪雨により開催できなかった事も有ります。今年度は世界の人々がコロナ（COVID-19）ウィルスの世界的な拡散により感染しております。又、死者も多く出ており終息の気配がない状況が続いています。飯田・下伊那地方にも感染者が出ました。2021年度も前年のような取り組みをしていかなければならないと思います。諸先輩の方々が築き上げた行事ですが、下市田6区においても高齢化が進み、担い手不足の課題があります。しかし、年齢差を越えて、協力して一つの事に当たるのは大変有意義なことです。様々な課題がありますが、市田灯籠流しが、今後も続いていくと良いですね。宗教の違いが有るかと思いますが亡くなられた方々の供養と世界平和を込めて合掌。

（記 市田灯籠流し実行委員 古木 英男 様）